

社協だより

No.
73

2024年2月1日 発行

社会福祉法人 坂東市社会福祉協議会

《本所》坂東市辺田 48 番地 電話 0297(35)4811 FAX 0297(36)2355

《支所》坂東市山 2721 番地 電話 0280(88)1000 / 0297(44)2943 FAX 0280(88)1041

令和5年度坂東市社会福祉大会



11月23日に、令和5年度坂東市社会福祉大会が開催されました。

式典ではこれまで社会福祉事業にご尽力されました個人・団体様の表彰、また坂東市民健康体操高額貯筋者の表彰が行われました。

主な内容

- | | | | |
|-------------------------------|---|-----------------------|----|
| ● 坂東市社会福祉大会報告(表彰者報告など) …… | 2 | ● 令和5年度ウォーキング教室開催報告 | |
| ● 手話奉仕員養成事業 …… | 3 | オレンジカフェにぜひお越しください …… | 8 |
| ● 岩井第一支部事業・岩井第二支部事業・飯島支部事業 …… | 4 | ● 坂東市ネットワーカー連絡協議会 …… | 9 |
| ● 神大実支部事業・七郷支部事業・中川支部事業 …… | 5 | ● こども食堂 寄付報告 …… | 10 |
| ● 七重支部事業・生子菅支部事業・内野山支部事業 …… | 6 | ● 善意銀行 …… | 11 |
| ● 地域福祉ネットワーク事業 日常生活自立支援事業 …… | 7 | ● 陶芸教室 障がい者(児)ボウリング大会 | |
| | | 義援金募集 災害ボランティア情報 …… | 12 |

社協は社会福祉協議会の略称です。この広報紙は、共同募金配分金により作成されています。

令和5年度坂東市社会福祉大会

夫婦漫才 中山まさとも・つかさ ご講演いただきました

基調講演では、夫婦漫才コンビ“中山まさとも・つかさ”による「笑って前向きに! ~誰もが実践できる明るい地域づくり~」というタイトルで、笑いの発想から誰もが楽しみながら、前向きになるためのコツなどについてお話をされました。

また、講演の後半には脳梗塞で療養中だった奥様のつかささんとの漫才は、会場内にいた出席者の笑いを誘いました。



坂東市社会福祉大会で表彰された皆さま

1. 坂東市社会福祉協議会会長表彰 (順不同、敬称略)

<社会福祉団体役員>

逆井 秀夫	坂東市シニアクラブ連合会役員
小川 實	坂東市シニアクラブ連合会役員
吉田 寛	坂東市シニアクラブ連合会役員
吉良 俊信	坂東市社会福祉協議会岩井第二支部役員
靄見 茂之	坂東市介護保険事業者団体連合会役員
小林 裕子	坂東市いきいきヘルス体操指導士会役員

<社会福祉活動者>

鈴木 智子	坂東市いきいきヘルス体操指導士会
井上 直子	坂東市いきいきヘルス体操指導士会
小林 文子	坂東市いきいきヘルス体操指導士会
海老原 富枝	坂東市いきいきヘルス体操指導士会
畠山 宣子	坂東市いきいきヘルス体操指導士会
野口 恵子	坂東市いきいきヘルス体操指導士会
野村 きちの	坂東市いきいきヘルス体操指導士会
染谷 美枝子	坂東市いきいきヘルス体操指導士会
野口 博子	坂東市いきいきヘルス体操指導士会
古矢 昌子	坂東市いきいきヘルス体操指導士会
登内 きく子	坂東市いきいきヘルス体操指導士会
金子 サダ子	坂東市いきいきヘルス体操指導士会
青木 英子	坂東市いきいきヘルス体操指導士会

<社会福祉施設職員>

鈴木 久美子	認定こども園すずのき
堀之内 裕子	認定こども園すずのき
北城 陽子	認定こども園すずのき

<社会福祉施設職員>

倉持 奈歩	認定こども園岩井保育園
中川 友美子	特別養護老人ホーム恵愛荘
瀧本 晃子	特別養護老人ホーム恵愛荘
篠塚 晴美	特別養護老人ホーム恵愛荘
堀江 祐太	特別養護老人ホーム恵愛荘
倉持 美奈子	特別養護老人ホーム恵愛荘
佐原 美奈子	特別養護老人ホーム恵愛荘
小林 麗子	特別養護老人ホーム恵愛荘
中村 まゆみ	特別養護老人ホーム恵愛荘
山崎 和秀	特別養護老人ホーム恵愛荘
木村 弥生	特別養護老人ホーム恵愛荘
片倉 誠則	障害福祉サービス事業所すずかの創造苑
臺 ちえみ	障害福祉サービス事業所すずかの創造苑

2. 坂東市社会福祉協議会会長感謝 (順不同、敬称略)

音頭金属株式会社	坂東市社会福祉協議会へ寄付
有限会社三郷解体	坂東市社会福祉協議会へ寄付
茨城リサイクルセンター	坂東市社会福祉協議会へ寄付
株式会社南海工業	坂東市社会福祉協議会へ寄付

3. 坂東市社会福祉協議会会長表彰 (順不同、敬称略)

<坂東市民健康体操高額貯筋者>

(1) プラチナ (200万)
寛田 富江





手話奉仕員養成事業「入門課程」

この事業は、聴覚障がい者の生活や福祉制度の理解を深めるとともに、手話で簡単な日常会話などの手話表現技術を習得することを目的としています。

学習内容を前期・後期に分けて開催し、令和5・6年度でひとつの講座となります。今年度は、8月から12月の期間で全10回の講座（前期）が開催されました。

当初、受講生の皆さんは手や指を動かすことに慣れず、動作が固く緊張した様子でしたが、学習を進めていくなかで、少しずつ手や指の動かし方も滑らかになり、表情豊かに手話表現をされていました。

「後期も頑張ります!」「学んだ手話を忘れないよう勉強を続けていきたい!」など、積極的な声がありました。

講師の山崎さんからも「また、後期の講座で皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。」と期待の声を頂きました。



●手話とは「目」で見えて理解する「ことば」です

●手話とは「手や身体、表情」で表す「ことば」です

聞こえる人(健聴者)が声のトーンや表情で感情を表すように、手話の表現の大きさや強弱、表情を豊かに表現することで気持ちを伝えます。

岩井第一支部

岩井第一支部では10月27日に岩井第一分館共催のシニア・グラウンド・ゴルフ大会を昨年度に続き開催しました。

11月19日には、4年ぶりに福祉交流会を開催。第一部では、指導士の皆様に協力をもらい、市民健康体操を実施。第二部ではプロのマジシャンとしてメディアにも多数出演されている、からくりドールさん他マジシャン4名をゲストにスペシャルマジックショーを開催しました。今回はマジックショーのほか、イリュージョンショーも実施していただき、観客から驚きと笑いにつつまれた時間となりました。

同日には、民生委員にご協力をいただき、第一地区のひとり暮らしの高齢者世帯を対象としたきずな声かけ事業を実施しました。



岩井第二支部

1月14日、岩井第二分館との共催で、岩井福祉センター夢積館を会場に「岩井第二地区地域交流グラウンド・ゴルフ大会」を開催しました。当日は、前日に振った雪が芝生の上に残る中で競技を行いました。参加者の皆さんは、それぞれのペースで元気に楽しくプレーできたようです。これからも、地域の方々が気軽に交流できる取組みを進めていきたいと思ひます



飯島支部

11月4日、飯島分館と共催による「飯島地区防災訓練」を幸田新田地区の住民の皆様を対象に、飯島小学校体育館で実施いたしました。今年度は、防災訓練5カ年計画の集大成の年となり、幸田新田地区以外の区長も出席し、防災訓練における反省点や今後の取組みについても話しがありました。

また、坂東市役所防災危機管理室からは災害時の準備する物や避難情報など解説があり、社会福祉協議会からは、様々な場所で災害が発生し、復興復旧のために欠かすことのできない災害ボランティアについての説明を行い、災害ボランティアの登録についても呼びかけを行いました。



神大実支部

12月17日、神大実支部きずな声かけ事業が行われ、41人の1人暮らし等高齢者の方の見守りが行われました。昨年度から神大実小学校の先生、児童の皆さんにご協力いただき、高齢者の方へのメッセージカードもプレゼントしています。

2月には高齢者や認知症の方を見守る講座の実施も予定しており、小学生から高齢者まで、みんなで見守り、支え合える地域づくりを推進しています。



七郷支部

12月9日、七郷支部・七郷分館・七郷地区シニアクラブ合同で輪投げ大会を開催しました。地域間交流・健康の維持増進を目的としたもので、個人戦による輪投げ、消費生活センターによる出前講座、体操団体による坂東市民健康体操等を行いました。当日は晴天に恵まれ、会場のあちこちから歓声や笑い声が聞かれるなど大いに盛り上がりました。また、同日、1人暮らし高齢者等への訪問活動である「きずな声かけ事業」も実施。七郷支部福祉推進員による粗品の配布を対象者90人に行っております。

今後も七郷支部では地域の皆さんが笑顔になれるような事業に取り組んでまいります。



1歳の小さなお子さんから88歳の方まで参加され、世代交流も楽しめました！

中川支部

長谷5区、小山下区において、「三世代中川ふれあい交流会」を開催しました。

交流会は、この数年間は新型コロナ感染拡大予防のために休止していましたが、子どももシニアも一緒に楽しい時間を過ごしてもらいたいと福祉推進員や保護者の想いもあり、久しぶりの開催となりました。

交流会では、自己紹介、輪投げやビンゴ、紙芝居、食事会など盛りだくさんの内容で、会場は子どもたちの笑い声とともに世代を超えて温かい雰囲気でも包まれていました。



七重支部

七重支部では、地域内にある各種団体との連携を図りながら、子どもからお年寄りまで、安全で安心して暮らせる地域づくりに向けて取り組んでいます。その中でも、毎年9月の敬老の日に合わせて開催している「お楽しみ会」は、毎年300人以上の来場者があり、皆さんが楽しみにしているイベントです。当日は郷土芸能や唄や踊りなどの発表を通じて、幅広い年代の住民が交流を図り、長年にわたり地域社会に貢献されてきた方々に感謝と敬意を伝える貴重な機会として定着しています。今後も住民が互いに支え合い、思いやりのある地域福祉活動を進めていきます。



生子菅支部

11月18日に、『賢い消費者になるための講座・スクエアステップ体操』を開催しました。

近隣でも詐欺被害が続出しているため、講師に境警察署生活安全課の方や坂東市役所消費生活相談員の方にお越しいただき、日頃から詐欺にあわないためにはどのようなことに気を付けたいかなどを学びました。他人事ではなく、いつ自分に襲い掛かるかもしれない内容に、皆さん真剣に耳を傾けていました。

また、講座後には坂東市スクエアステップリーダーの会のみなさんのもと、転倒予防、認知症予防、体力づくりなどの効果をもたらすスクエアステップ体操を行いました。「頭と足を使うので少し難しい。でも、出来るようになってとても楽しい。」との声が聞かれました。

地域間の交流も見られ、充実した和やかな1日となりました。



内野山支部

11月18日、内野山小学校体育館において、坂東市社協内野山支部・坂東市立公民館内野山分館共催による「内野山芸能と健康の集い」が4年ぶりに開催されました。

当日は第1部として、坂東市いきいきヘルス体操指導士会協力のもと、健康長寿につながる各種の体操実演などが披露され、会場の皆さんも熱心に取り組まれました。

また、第2部のカラオケ大会では事前申込者に加え、当日出演者も含め多くの方々が熱唱し、会場内とても楽しい雰囲気の中で交流や親睦を図ることができました。

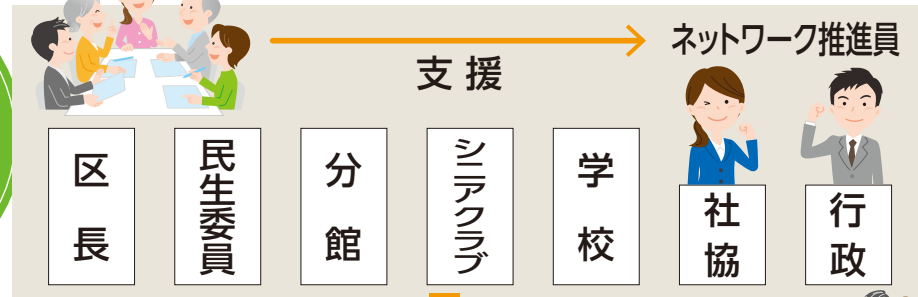


地域福祉ネットワーク事業（生活支援体制整備事業）

事業推進体制

地域福祉ネットワーク協議体「第1層」(社会福祉協議会支部長連絡会)

支部との
連携サポート



13支部

地域福祉ネットワーク協議体「第2層」(社会福祉協議会13支部)



地域資源把握
課題抽出

資源開発
助け合い強化

日常生活自立支援事業

あなたの暮らしの“あんしん”をお手伝いする制度です

福祉サービスを利用したいけれど手続きの仕方が分からない。銀行に行ってお金をおろしたいけれど、自信がなくて誰かに相談したい。

毎日の暮らしの中にはいろいろな不安や疑問、判断に迷ってしまうことがたくさんあります。日常生活自立支援事業は、このような場合に、福祉サービスの利用手続きや、金銭管理のお手伝いをして、生き生きと安心して暮らせるようにサポートします。

利用できる人

高齢や障がいにより判断能力が低下し、福祉サービスの利用手続きや、お金の管理がひとりでは難しい方。

※例えば…認知症・知的障がい・精神障がいのある方等



相談から、支援計画の作成、契約の締結は**無料**です。

- 福祉サービス利用手続きの援助や金銭管理などのサービス …… 1時間あたり 1,100円
- 通帳や証書などを預かる書類等預かりサービス …… 1カ月あたり 500円

まずは、社会福祉協議会へご相談ください。

令和5年度ウォーキング教室開催報告

12月16日、ミュージアムパーク茨城県自然博物館に集合し、菅生沼の自然観察を楽しみながらウォーキングを実施しました。今年もたくさんの白鳥を見ることができ、参加者からは「楽しかった!」「また来たい!」といった声が聞かれました。



▲講師・野口 翠氏



◀ 足元の悪い道も進みます!



◀ 準備体操からスタート。ケガしないよう入念に!



▲参加者32人で記念撮影!

オレンジカフェにぜひお越しください

認知症の方やその家族、地域の方などを対象に、集いの場「オレンジカフェ」を開催しています。参加者みんなで楽しめる脳トレやゲーム、家族や地域の方との意見交換・情報提供など行っています。認知症について正しく理解し、地域で温かく見守ることが、誰もが安心して暮らせるまちづくりにつながります。

皆さんのご参加をお待ちしております!



今年度のオレンジカフェの様子



▲楽しく脳トレ!



▲輪なげも楽しめました!



▲意見交換・情報提供



▲ハーモニカ演奏

皆で脳トレ練習!



得意な分野で活躍!

毎回反省会を行い、今後にいかしています!



▲ボランティアスタッフの様子

毎月第2火曜日開催してます。

時間 午後2時～午後3時30分

場所 猿島福祉センターほほえみ

住所 坂東市山2721番地

参加申込・問合せ：坂東市北部地域包括支援センター 社会福祉協議会

☎ 0280-82-1284・0297-44-2943

午前8時30分～午後5時15分（土・日・祝日を除く）

ボランティア
グループ紹介

坂東市ネットワークー連絡協議会

● グループを結成して何年になりますか？

平成12年に旧岩井市ネットワークー連絡協議会として始まりましたので、23年になりますかね…現在の会員は20名です。

● グループ結成のきっかけは何ですか？

現在、茨城県が行っている「チャレンジいばらき県民運動」の前身である「大好きいばらき県民会議」によるものです。福祉社会づくりや生活環境づくり、人づくりなどの幅広い県民運動を推進しており、当時は、環境美化運動として地域のごみ拾いや空き缶回収、福祉施設訪問などを行っていました。

● グループ名の「ネットワークー」には何か意味があるのですか？

県民運動を各地で広げ、住みよい地域づくり、地域の人たちのネットワークーづくりに取り組んでいる方々を総称して「ネットワークー」と呼んでいます。

● どのような活動をしているの？

主な活動は、環境美化運動や子どもたちの登下校の見守り「あいさつ・声かけ運動」、市敬老会などのイベントのお手伝い、市公民館まつりで赤い羽根共同募金運動への協力として募金活動や啓発活動を行っています。

● 皆さんにとってのボランティア活動って何ですか？

ボランティアは、金銭的な報酬もなければ、誰かに強制されてするものではありません。ボランティアは義務や強制ではないため、自発的な意思と奉仕心が必要だと思います。登下校の見守り活動で、子どもたちの大きな声であいさつする姿を目にすると、自分たちが1日のパワーを貰っているように感じます。これからも、ちょっとした社会貢献と自分たちの健康維持のためにも活動を続けていきたい…と考えているメンバーもいます。



ボランティアとは

一般的には「自発的な意志に基づき他人や社会に貢献する行為」を指してボランティア活動と言われており、活動の性格として、「自主性（主体性）」、「社会性（連帯性）」、「無償性（無給性）」等があげられます。

ボランティア活動は個人の自発的な意思に基づく自主的な活動であり、活動者個人の自己実現への欲求や社会参加意欲が充足されるだけでなく、社会においてはその活動の広がりによって、社会貢献、福祉活動等への関心が高まり、様々な構成員がともに支え合い、交流する地域社会づくりが進むなど、大きな意義を持っています。

（厚生労働省ホームページ資料を参考にしています）

坂東市生活学校



食品等の無料配布！
あそびにきてね！



福祉センターにサンタクロースがやってきた



坂東市生活学校こども食堂の皆さんが、「クリスマスイベント」を12月16日、23日の2回に分けて開催しました。

ひとり親家庭や生活に課題を抱える家庭などを対象に希望者全員にケーキやお弁当などを無料配布しました。

社会福祉協議会からは、赤い羽根共同募金助成を活用し食品やお菓子を配布。市民の皆さまや企業さまからお預かりした食の支援品を配布しました。



寄贈ありがとうございます

中古農機具買取専門店ネクスト茨城店様より「こども食堂で活用していただきたい。」とお米の寄贈がありました。

農業生産者との繋がりのなかで、地域貢献や食育を図ることを目的に、多くの方々の協力によりたくさんのお米が集まったとのことでした。

今回のこのクリスマスイベントでこども食堂利用者の皆さんへお配りしました。



善意銀行

あなたのまごころ伝えたい

心温まるお気持ちをお寄せくださいまして、誠にありがとうございます。お預かりした善意は、社会福祉向上のために活用させていただきます。

期間：令和5年11月16日～令和6年1月19日（敬称略、順不同）

金品寄付者名	金額（円）
福祉寄付	
Kプランニング	30,000
坂東市商工会壮青年部	14,000
妙安寺 除夜の鐘	11,611
坂東市菊花会	11,468
中川地区グラウンドゴルフ協会	8,500
妙安寺	4,300
生子新田シニアクラブ	2,160

物品寄付者名	
使用済み切手	
坂東ひな飾りプロジェクト	(株)アスリード
酒のごとう	米島 一秀
オエノンサッカークラブ	岩井美容組合
Tokyo Tea Trading	間中建築企画(株)
(株)幸上土木	川島 礼子
関根 喜一	砂崎シニアクラブ
森田 千恵子	暁厚生園
飯田 伊一郎	猿島運送(株)
間中 達雄	南 善治
生子新田シニアクラブ	匿名 2件

プルタブ	
小島 敏明	新町シニアクラブ
岩井美容組合	Tokyo Tea Trading
野口 勝幸	関根 喜一
大鳥建築	木村 広志
西村中 えがお会	秋葉 ヒロ子
博愛学園	南 善治
池田 春美	浦島太郎
匿名 3件	

ベルマーク	
青木種苗店	岩井美容組合
Tokyo Tea Trading	川島 礼子
中村 茂美	砂崎シニアクラブ
池田 春美	匿名 1件

その他物品	
アサヒセイレン(株)	エス・エス・アルミ(株)
岩井美容組合	関根 喜一
匿名 1件	

物品寄付者名	
エコキャップ	
坂東ひな飾りプロジェクト	富山 よし子
富山 健	恵愛荘
しずかの創造苑	木村 巳三夫
新町シニアクラブ	青木種苗店
中村 保	さしま環境管理事務組合
武井 高志	(有)参考堂
小山下シニアクラブ	塚原 廣子
酒のごとう	米島 一秀
オエノンサッカークラブ	岩井美容組合
合田 きみ子	常磐印刷(株)
Tokyo Tea Trading	間中建築企画(株)
野口 勝幸	中村 欽哉
武井 知子	倉持 紗愛
JA 岩井女性部七郷支部	川島 礼子
荒川 登	高地 里子・飯田 みさい
関根 喜一	中村 茂美
森田 千恵子	大鳥建築
(株)つくばサービスネット	たいようの家
自立支援センター きぼう	張替 道子
すみれ会	さしま保育園
塚原 耕喜	石本 秀雄
木村 広志	(有)鶴巻石油
砂崎シニアクラブ	金久保 信子
西村中えがお会	倉持 一彦
間中 達雄	博愛学園
倉持 萬吉	吉田 桂子
南 善治	池田 春美
井桁 安代	奥澤 照夫
島田 久子	青木 久子
浦島太郎	野仲 悠斗
林 作	匿名 11件

その他食品	
中古農機具買取専門店 ネクスト茨城店	大木 信義
堀越 実	東陽寺
立正佼成会古河教会	坂東市生活学校こども食堂
ヤマダイ(株)	匿名 2件



アサヒセイレン(株)



坂東市商工会壮青年部

お預かりしているもの

現金、ペットボトルキャップ、使用済み切手、その他社会福祉推進に活用できるもの

お預かりしている場所

社協本所・社協支所（土曜、日曜、祝日除く、午前8時30分から午後5時15分まで）

オリジナルの陶器を作ってみませんか!

陶芸教室
会員募集!!

令和6年度新規会員を募集いたします。陶芸に挑戦し、新たな喜びを見つけませんか。

陶芸には、心を落ち着かせ、穏やかな気持ちにさせる癒しの効果があるといわれています。指先を使い、脳を活性化させましょう。決められたものを作るのではなく、自由に発想することで、創造力を育み、感性も豊かになります。

開催日 隔週の水曜日(月2回程度) 午前10時～午後2時30分

場所 岩井福祉センター「夢積館」

対象者 市内在住60才以上の方で、陶芸未経験者・初心者の方

募集人数 若干名(先着順)

会費 月額1,000円～1,500円
※入会時、別途道具代がかかります。

申込み期間 2月20日(火)～3月6日(水)



●申込み・お問い合わせ 坂東市社会福祉協議会本所 ☎ 0297-35-4811
※午前8時30分から午後5時15分(土日・祝日を除く)



陶芸教室の会員が制作した作品を展示します。来場された方に、会員より心ばかりの品をご用意しております。(数に限りがあります)

ぜひ、ご来場ください。

開催日 3月7日(木)～3月12日(火) 午前10時～午後3時まで
※9日(土)、10日(日)は休館となります。

場所 岩井福祉センター「夢積館」

障がい者(児)ボウリング大会

市内の障害手帳受給者の方を対象に、自立と社会参加の促進を目的に身体障がい部門・知的障がい部門・精神障がい部門の3部門に分け、ボウリング大会を開催します。ぜひご参加ください。

と き 3月9日(土) 受付:午前9時 開会:午前10時

と ころ 坂東ファミリーボウル(ヨークタウン坂東内) **参加費** 1人500円

申込み期限 2月22日(木) まで

申込み・問合せ 坂東市社会福祉協議会 本所 ☎ 0297-35-4811 支所 ☎ 0297-44-2943・0280-88-1000
※午前8時30分から午後5時15分(土日・祝日を除く)



茨城県共同募金会 坂東市共同募金委員会からのお知らせ

～令和6年能登半島地震災害義援金～ ご協力よろしく申し上げます。

○受付場所 社会福祉協議会本所・支所 ○問合せ先 電話 0297-35-4811

○受付時間 午前8時30分から午後5時15分 ※土日・祝日を除く

この度の地震により被害にあわれた方々には、心からお見舞い申し上げます。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の災害義援金を受付しています。同災害により被災された北陸地方の方々を支援するため中央共同募金会が募集する義援金です。

お預かりした義援金は、坂東市共同募金委員会から茨城県共同募金会へ全額送金し、その後、中央共同募金会へ送金されます。皆さまからお預かりした義援金は、関係機関で組織される義援金配分委員会に取りまとめられ、現地の被災状況をもとに配分基準等を決定し、市町村を通じて被災者の方々に届けられます。



災害ボランティア情報

災害が発生したら、すぐに被災地へ駆け付けたいという思いがあるかもしれませんが、行く前に被災地の状況を確認することが重要です。「とりあえず現地へ行こう」と行ってみても、現地ではボランティアの受入れ体制が整っていない場合があります。

求められるニーズは、災害や被災地によって異なりますので、ボランティア活動を支援・推進している全国社会福祉協議会や被災地の社会福祉協議会、自治体などのSNSやウェブサイトで最新の情報を必ず確認してください。なお、被災地の自治体へ直接電話をすることは避けましょう。職員の方は様々な緊急対応を行っているため、電話での問合せへの対応で緊急対応に手が回らなくなってしまう可能性があります。

→全社協 被災者支援・災害ボランティア情報を参考にしてみましょう

坂東市社会福祉協議会では、現在、能登半島地震災害義援金の募集を行っております。